名　　称	デ　　ー　　タ
佐賀市清掃課北事業所整備事業〔① フジコンポストシステム，② 佐賀県佐賀市高木瀬町大字長瀬2563番地の1，③ 100% 完成（昭和 50 年 11 月 4 日現在）〕	事業実施箇所：佐賀市高木瀬町大字長瀬2563の1　事業主体：佐賀市　工事期間：昭和 49 年 4 月 1 日～50 年 11 月 4 日　事業予算：7 億 500 万円（うち，土木建築 2 億 2 000 万円）　処理能力：120 t/12 m×1 基　施工業者名：富士車輌
広島市出島処理場〔② 広島市，③ 100% 完成（昭和 50 年 8 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：広島県広島市出島一丁目地先埋立地　事業主体：広島市　工事期間：昭和 48 年 12 月 28 日～50 年 8 月 31 日　事業予算：38 億 8 000 万円（用地費含まず）　敷地面積：1 万 5 000 m² 処理能力：900 kl/24 h（300 kl/24 h×3 系列）　処理方式：C.G プロセス（混合処理方式）　施工業者名：荏原インフィルコ・フジタ工業
汀線の変化が環境に与える影響評価調査〔① 汀線変化環境影響評価調査，② 山口県下松市，③ 100% 完成（昭和 51 年 3 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：山口県下松　事業主体：環境庁水質保全局　調査期間：昭和 50 年 4 月 1 日～51 年 3 月 31 日　事業予算：930 万円　施工業者名：荏原インフィルコ
日本近海海洋汚染実態調査〔③ 100% 完成（昭和 51 年 3 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：日本近海　事業主体：環境庁　調査期間：昭和 50 年 7 月 17 日～51 年 3 月 31 日　事業予算：7 200 万円　主な測定項目：水質（透明度，pH, DO, TOC (COD)，塩分，アンモニア態・亜硝酸態および硝酸態チッ素，リン酸態リン，全リン，全水銀，鉛，ヒ素，カドミウム，PCB 等）　底質（硫化物，全水銀，鉛，ヒ素，カドミウム，PCB）　調査回数：年 2 回　施工業者名：新日本気象海洋・環境分析センター
洞海湾公害防止対策事業〔② 北九州市，③ 約 90% 完成（昭和 50 年 12 月 18 日現在）〕	事業実施箇所：北九州市洞海湾　事業主体：北九州市　工事期間：昭和 48 年 2 月～51 年 3 月　事業予算：18 億円　施工概要：浚渫土量 35 万 m³，土捨場 5 万 7 200 m³（護岸 213 m，沈殿池 L 90 m×B 10 m，覆土　厚さ約 1.5 m）　施工業者名：五洋建設・若築建設・神野建設ほか

治水・治山・海岸

昭和 50 年度の**治水事業**は第四次治水事業 5 か年計画（昭和 47～51 年度）の第 4 年度目として河川・ダム・砂防にわたって予算総額約 6 187 億円（河川 3 537 億円，ダム 1 481 億円，砂防 1 149 億円，機械等 20 億円）で実施した．

河川については，最近激甚な災害の発生した河川の災害対策および地方生活圏整備特定事業に関連した河川，ならびに特定プロジェクト，宅地開発事業等の他事業に関連した河川等の改修を重点的に実施した．また都市地域に係る小河川の改修については対象都市を拡大して事業の推進を図った．なお今年度より新設された準用河川についても事業の推進を図った．直轄河川事業は，石狩川，利根川，淀川等 124 河川の改修工事，中川，新町川等 15 河川の浄化対策事業，北上川上流（北上市），荒川下流（東京都）等 59 河川の河道整備事業を実施した．補助河川事業は中小河川 669 河川，小規模河川 811 河川，局部改良 1 478 河川，高潮対策 11 地区，河道整備 50 河川，河川浄化 48 河川，都市小河川 29 都市 117 河川，地

名　　称	デ　　ー　　タ
国根府浚渫工事〔② 北海道中川郡中川町，③ 95% 完成（昭和 50 年 12 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：北海道中川郡中川町　事業主体：北海道開発局旭川開発建設部　工事期間：昭和 46 年 5 月～　事業予算：総事業費 12 億 2 000 万円（うち 50 年度 2 億 1 000 万円）　浚渫延長：1 600 m　浚渫土量：258 万 m³　護岸延長：150 m　橋梁：1 か所　15 インチ 600 HP 電動式ポンプ浚渫船　施工業者名：荒井建設・川田工業・郷土建工業
三郷放水路新設工事〔① 三郷放水路，② 埼玉県三郷市，③ 全事業（暫定）のうち 70% 完成（昭和 51 年 3 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：埼玉県三郷市三郷　事業主体：建設省関東地方建設局　工事期間：昭和 45 年 4 月～53 年 3 月　事業予算：（暫定）174 億円　計画排水量：200 m³/sec（暫定 100 m³/sec）　放水路延長：1 500 m　放水路川幅：52 m　ポンプ形式：立型斜流ディーゼルエンジン駆動　施工業者名：鹿島建設・熊谷組（土木），荏原製作所・日立製作所ポンプほか
牛久沼水門及び排水機場改築工事〔① 牛久沼排水機場，② 茨城県竜ケ崎市，③ 90% 完成（昭和 51 年 3 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：茨城県竜ケ崎市小通幸谷　事業主体：建設省関東地方建設局　工事期間：昭和 48 年 8 月～53 年 3 月　事業予算：65 億円　水門：径間 16.5 m×2 連・鋼製ローラーゲート　排水機場：排水量 50 m³/sec（暫定 30 m³/sec）　施工業者名：大成建設（土木）・荏原製作所（ポンプ）
野洲川放水路工事〔② 滋賀県守山市野洲町・中主町，③ 39% 完成（昭和 51 年 3 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：滋賀県守山市野洲町・中主町　事業主体：建設省近畿地方建設局　工事期間：昭和 46 年 9 月～　事業予算：約 328 億円　計画高水流量：4 500 m³/sec　改修延長：8 km　河幅：330 m　橋梁：6 橋　落差工：1 基　施工業者名：守山建設ジョイント・昭建・清水建設ほか
淀川大堰等改築工事〔② 大阪市都島区・東淀川区，③ 36% 完成（昭和 51 年 3 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：大阪市都島区毛馬町・東淀川区浜町　事業主体：建設省近畿地方建設局　工事期間：昭和 47 年 9 月～　事業予算：約 195 億円（うち，土木事業費 132 億円）　計画高水流量：1 万 2 000 m³/sec　可動堰総延長：330 m　門扉形式：鋼製セルタイプローラーゲート　ゲート寸法：メインゲート／55 m×7.8 m×4 門・サイドゲート／40 m×7.8 m×2 門　魚道：左・右岸 2 門（幅 6 m）　施工業者名：熊谷組・大成建設（大堰），日立造船／三菱重工 JV（ゲート），栗本鉄工・酒井鉄工（水閘門）

概　　要　・　特　　色
現有焼却処理施設の能力低下と，職場環境の向上，ならびに資源の再利用を目的としたフジコンポストシステムを導入したものである． 本施設の特徴は，一般都市ゴミを破砕して，有価物類と厨芥類とに分別し，前者を再利用に供し，後者は，高速堆肥化するものである．なお，し尿処理工程において発生するし尿汚泥をもこの堆肥に混入し，土地の改良剤として最適のものを製品化しようとするものであり，わが国初のコンポスト工場である．
本市は，汲取し尿の大半を土佐沖への海洋投入処分にたよってきたが，本し尿処理場の運転開始により，9月から全量陸上衛生処理ができるようになった．施設は，機械および作業環境のすべてをRC構造4階地下1階の建物の中に収容するとともに，池槽類は地下に埋設した．建物周辺は植樹，芝張等で緑化し，特に地下沈槽のスラブ上は約 6 500 m² の夜間照明つき球技グランドとして整備し，地元住民を中心とした一般市民に開放している．
地域開発行為が海，湖沼の生態系に及ぼす影響については主に栄養塩の面からの研究がなされてきたが，水圏における栄養塩等の化学的条件は，流れ，地形等の物理的条件によって大きく変化すると考えられる．このことから，汀線の形態（砂浜，磯浜，人工堤防，テトラポット）の違いが同一水域内の環境（栄養塩，プランクトン，底生生物，付着生物等）にどのような影響を与えるかについて調査し，その影響の評価を行うものである．
本調査は，海洋汚染モニタリングに関する最近の国際的な動向にかんがみ，日本周辺海域における海洋汚染の実態を総合的に把握するとともに，その汚染機構の解明に資することを目的とする．このため，日本周辺を流れる海流を横断するように日本沿岸から海洋汚染防止法に基づく有害廃棄物の投棄海域の中心を通る5つの測定線を設け，それら測定線上の計 46 測定点において，海水および底泥中の重金属濃度等も含めた測定項目について，深層に及ぶ調査を実施する．
北九州地域公害防止計画は，第三次策定地域として昭和 47 年 12 月に承認を受け，昭和 47 年から昭和 56 年の 10 か年で施策するよう計画され，第四次港湾整備5か年計画において水銀含有量 30 ppm 以上の土量 35 万 m³ の除去を実施した． 浚渫は，密閉グラブ浚渫船で行い，周辺に汚濁防止フェンスを張った．運搬は，函型完全密閉バージを使用し，飛散，臭気を防止するためにシートで蓋をした．揚泥はクラムシェルで行い，土捨場に入れた小型サイド開き土運船で投棄した．土捨場の覆土は，バンブーネット工法で砂と山土で約 1.5 m 程度行う予定である．

盤沈下対策6地区，耐震対策1地区，準用河川180河川を実施した．

ダムについては，治水の安全度の向上とひっ迫する水需要に対処するため直轄事業としては，手取川手取川ダム等 7 河川総合開発事業，利根川広域導水事業等3流況調整河川事業，利根川川治ダム，九頭竜川真名川ダム等 52 の多目的ダム等の建設ならびに実施計画調査の事業を実施した．水公団事業としては，利根川草木ダム等 19 の多目的ダム等の建設ならびに実施計画調査の事業を実施した．補助事業としては，酒匂川酒匂ダム，八戸川八戸ダム等 96 の河川総合開発事業，胎内川胎内川ダム等 97 の治水ダム建設事業を実施した．

砂防については，近年の土砂害や地すべり災害の頻発に対処するため，土石流対策および地すべり対策に重点をおいて推進した．

直轄事業としては最上川等 28 水系における砂防事業，亀ノ瀬地区（大阪府下）等4地区の地すべり対策事業を，補助事業では全国で 3 790 渓流に砂防事業，572 地区に地すべり対策をそれぞれ実施した．

急傾斜地崩壊対策事業は事業費約113億円をもって839か所の崩壊防止工事を実施した．

海岸事業は総事業費約730億円をもって海岸保全施設整備および海岸環境整備を実施した．

概　　要　・　特　　色
国根府捷水路は，北海道3大河川の一角をなす天塩川の河口より 54 km に位置し，天塩川最後の大規模工事であり，捷水路延長 1 600 m で旧河道延長 5 200 m を 3 600 m 短縮し，計画高水位を約 1.20 m 低下させる．計画流量 $Q=3\,800$ m³/sec，低水路幅 100 m で浚渫土量 258 万 m³，新問寒橋（$l=232$ m, $W=7.0$ m）の架橋，護岸工等を行い，昭和 50 年 11 月に通水した． 浚渫は 600 HP ポンプ浚渫船でプール方式による掘削排水の循環使用を行うことにより公害防止に万全を期している．昭和 46 年より5か年の歳月を経て昭和 50 年 11 月通水し概成した．
三郷放水路は，中川と江戸川を連絡する延長 1.5 km の放水路で，中川の洪水の一部と大場川の洪水を，江戸川にポンプ排水するとともに，常時，江戸川の水が豊富なときは，ポンプの一部を逆に利用して，江戸川の水を 20 m³/sec を限度として中川へ導水し，中川の浄化させる目的をもつものであり，昭和 52 年度に暫定 100 m³/sec 完成を目標に促進中である．
現在進められている研究学園都市建設により，降雨時流出が集中増大することが予想されるため，各河川および牛久沼の改修が進められているが，それに対処するため，小見川との合流点に設置してある水門および排水機場を改築するものであり，昭和 51 年度には水門および排水機場の暫定 30 m³/sec を完成させる．
野洲川は流域面積 387 km² で，河口より約 7 km 地点で南北2流に分派する琵琶湖最大の支川である． 本事業は，この南北2流のほぼ中央に新川を開削するもので，河口より約 7.2 km 地点に落差工を設け，その下流を現地盤より約 3 m 掘り下げるものである．新川部の土質は軟弱であるため，浚渫船および湿地用連続掘削機により掘削し，この排土の一部をクリークや低湿地の埋立てに利用している．
淀川の工事実施基本計画は昭和 46 年3月に改訂され，全国に先がけて，年超過確率 1/200 の洪水を対象として治水計画が樹立された． 計画高水流量は 6 900 m³/sec から1万 2 000 m³/sec に改訂され，新河道計画では，河床の掘削と低水路の拡幅によって河積を確保するとともに，併せて低水路法線の是正を行う．この新河道計画に伴って，長柄可動堰の改築が必要となり，わが国最大級の 55 m のロングスパンゲートを有する淀川大堰として生まれ変わる．

名　　称	データ
原鶴分水路工事〔② 福岡県朝倉郡，③ 70% 完成（昭和 51 年 1 月現在）〕	事業実施箇所：福岡県朝倉郡杷木町原鶴　事業主体：建設省九州地方建設局　工事期間：昭和 43 年 4 月～55 年 3 月　事業予算：62 億円　計画高水流量：6 200 m³/sec（本川 4 600 m³/sec・分水路 1 600 m³/sec）　延長：1 500 m　河幅：115 m　主要構造物：橋梁 3 か所，床固め 2 か所　施工業者名：石井工務店・古賀組・栗本鉄工所ほか
第 1 寝屋川・恩智川河川改修事業（住道地区）〔② 大阪府大東市，③ 16% 完成（昭和 51 年 1 月 10 日現在）〕	事業実施箇所：大阪府大東市住道　事業主体：大阪府　工事期間：昭和 47 年 12 月～53 年 3 月　事業予算：約 115 億円　河川改修延長：1.6 km　橋梁：8 橋　河幅：恩智川 25 m・寝屋川 45～50 m　用地取得面積：2 万 6 800 m²　補償物件：380 件　施工業者名：鹿島建設・フジタ工業・大林組ほか
大阪高潮対策事業毛馬排水機場建設工事〔① 毛馬排水機場，② 大阪市，③ 約 30% 完成（昭和 51 年 3 月末日現在）〕	事業実施箇所：大阪市都島区・大淀区　事業主体：大阪府　工事期間：昭和 47 年 4 月 12 日～　事業予算：180 億円　計画吐出量：高潮時 330 m³/sec，高水時 190 m³/sec　機場規模：全幅（107 m）×全長（225 m）×全高（41.6 m），総コンクリート量／約 7 万 7 000 m³，総鉄筋鉄骨量／約 7 000 t　主ポンプ設備：立軸軸流可動翼式，口径 4 000 mm×6 台　ゲート設備：鋼製ローラーゲート　その他：除塵設備，クレーン設備，電気発電設備，自家発電設備等　施工業者名：鹿島建設・荏原製作所・石川島播磨重工業ほか
地盤沈下対策河川事業〔① 地沈，② 埼玉県八潮市，③ 20% 完成（昭和 50 年 12 月 26 日現在）〕	事業実施箇所：埼玉県八潮市大字桁地内　事業主体：埼玉県　工事期間：昭和 50 年 7 月 16 日～52 年 3 月 25 日　事業予算：5 億 6 000 万円　工事内容：40 m³/sec 機場下部工／鉄筋コンクリート造（コンクリート使用量 7 285 m³・鉄筋使用量 286 t），基礎杭（鋼管杭 ϕ600 L=3 万 2 000 mm～L=3 万 5 000 mm）211 本　施工業者名：竹中／島村土木工事 JV
九頭竜川水系真名川ダム〔① 真名川ダム，② 福井県大野市，③ 約 65% 完成（昭和 51 年 3 月 31 日予定）〕	事業実施箇所：福井県大野市若生子　事業主体：建設省　工事期間：昭和 45 年 1 月 30 日～53 年 3 月 31 日　事業予算：約 350 億円　形式：アーチ式コンクリートダム　堤高：127.5 m　堤体積：約 53 万 m³　施工業者名：前田建設工業
仁淀川水系大渡ダム〔① 大渡ダム，② 高知県吾川郡・高岡郡，③ 約 50% 完成（昭和 51 年 3 月 31 日予定）〕	事業実施箇所：高知県吾川郡吾川村・高岡郡仁淀村　事業主体：建設省　工事期間：昭和 46 年 10 月 23 日～55 年 3 月 31 日　事業予算：約 275 億円　形式：重力式コンクリートダム　堤高：100 m　堤体積：約 93 万 5 000 m³　施工業者名：大成建設
利根川水系川治ダム〔① 川治ダム，② 栃木県塩谷郡，③ 約 35% 完成（昭和 51 年 3 月 31 日予定）〕	事業実施箇所：栃木県塩谷郡藤原町　事業主体：建設省　工事期間：昭和 49 年 1 月 5 日～56 年 3 月 31 日　事業予算：約 450 億円　形式：アーチ式コンクリートダム　堤高：140 m　堤体積：約 93 万 5 000 m³　施工業者名：鹿島建設・西松建設
最上川水系白川ダム〔① 白川ダム，② 山形県西置賜郡，③ 約 55% 完成（昭和 51 年 3 月 31 日予定）〕	事業実施箇所：山形県西置賜郡飯豊町　事業主体：建設省　工事期間：昭和 46 年 7 月 1 日～54 年 3 月 31 日　事業予算：約 285 億円　形式：ゾーン型ロックフィルダム　堤高：69.0 m　堤体積：フィル部分／約 200 万 8 000 m³，コンクリート部分／約 14 万 m³　施工業者名：青木建設・飛島建設
芦田川水系芦田川河口堰〔① 芦田川河口堰，② 広島県福山市，③ 約 80% 完成（昭和 51 年 3 月 31 日予定）〕	事業実施箇所：広島県福山市箕島町・水呑町　事業主体：建設省　工事期間：昭和 47 年 5 月 8 日～52 年 3 月 31 日　事業予算：130 億円　形式：可動堰　堤長：450 m　主ゲート：41.4×6.0 m 鋼製ローラーゲート 4 門・41.4×5.0 m 鋼製ローラーゲート 6 門　調整用ゲート：3.5×4.35 m 鋼製起伏ゲート 2 門　魚道ゲート：2.0×3.5 m 鋼製起伏ゲート 1 門　施工業者名：五洋建設
鳴瀬川水系漆沢ダム〔① 漆沢ダム，② 宮城県加美郡，③ 約 35% 完成（昭和 51 年 3 月 31 日予定）〕	事業実施箇所：宮城県加美郡野田町　事業主体：宮城県　工事期間：昭和 46 年 5 月 1 日～54 年 3 月 13 日　事業予算：約 130 億円　形式：ゾーン型ロックフィルダム　堤高：80 m　堤体積：約 238 万 m³　施工業者名：鹿島建設
酒匂川水系三保ダム〔① 三保ダム，② 神奈川県足柄上郡，③ 約 45% 完成（昭和 51 年 3 月 31 日予定）〕	事業実施箇所：神奈川県足柄上郡山北町　事業主体：神奈川県　工事期間：昭和 49 年 5 月 15 日～53 年 3 月 31 日　事業予算：約 421 億円　形式：ゾーン型ロックフィルダム　堤高：100 m　堤体積：約 541 万m³　施工業者名：鹿島建設
勝浦川水系正木ダム〔① 正木ダム，② 徳島県勝浦郡，③ 約 60% 完成（昭和 51 年 3 月 31 日予定）〕	事業実施箇所：徳島県勝浦郡上勝町　事業主体：徳島県　工事期間：昭和 48 年 3 月 29 日～52 年 6 月 30 日　事業予算：約 95 億円　形式：重力式コンクリートダム　堤高：69 m　堤体積：約 29 万 m³　施工業者名：鹿島建設
直轄砂防事業紅葉谷砂防ダム〔② 兵庫県神戸市，③ 100%完成（昭和 51 年 3 月 13 日現在）〕	事業実施箇所：兵庫県神戸市東灘区　事業主体：建設省近畿地方建設局　工事期間：昭和 50 年 8 月 2 日～51 年 3 月 13 日　事業予算：1 億 1 000 万円　高さ：14 m　長さ：40 m　立積：2600 m³　形式：重力式コンクリートダム　貯砂量：1 万 4 600 m³　施工業者名：日産建設
通常砂防事業補助雑穀谷砂防ダム〔② 富山県中新川郡，③ 56% 完成（昭和 51 年 3 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：富山県中新川郡立山町　事業主体：富山県　工事期間：昭和 48 年 5 月～54 年 3 月　事業予算：4 億 1 000 万円　高さ：25 m　長さ：96 m　立積：3 万 1 500 m³　形式：重力式コンクリートダム　貯砂量：17 万 m³　施工業者名：丸新志鷹建設

概　　要　・　特　　色
原鶴地区は筑後川の中流部に位置し，河積狭小のうえ湾曲しているため昭和 28 年6月洪水で越水破堤し大被害をうけた．これを契機に改修計画を検討したが，現河川の沿岸は温泉街であり，現河道の拡幅による改修は温泉街の移転を伴うためとうてい期待し得ないので，温泉街が中の島になるような分水路計画を策定した．工事は昭和 47 年度より着手し途中温泉街の環境問題等で難行したが，これも解決して現在橋梁3橋のうち1橋を完成し，2橋を施工中であり，分水路は約 25% の開削を完了している．
大東市の表玄関に立地し，立錐の余地なく河岸に接して商店街，人家が連たんしている当地域は河川改修の立遅れと地盤沈下の進行などが相まって降雨のたびに越水し，浸水被害が発生しているため，河川の改修が急務であり，大阪府の重点施策のひとつとして進めている． 国鉄片町線が河川と近接して併走しているため，これの連続立体化事業，駅前再開発事業なども関連事業として取り込んだ改修事業の推進が用地の確保，物件の移転とともに肝要となっている．
当機場は，高潮時の水門閉鎖に伴う日本最大クラス（330 m³/sec）の内水排除用ポンプ場で，さらに寝屋川洪水の流量カットをすることにより東大阪の治水にも有効利用が図れる．また，当工事は，① 維持用水を流しながら洗堰の直下流（大川河道内）で建設するため，新水門と同時施工となり3期に分割施工をしており，②「限られた工事範囲」「掘削低面が低く透水性の高い砂礫地盤」等を考慮し仮設工として鋼管矢板による自立仮締切りおよびディープウェルによる排水工等を採用している．
桁川排水機場は桁川が中川に合流する地点に内水対策を目的に建設するものである． 桁川は直轄河川中川と綾瀬川に囲まれた 11.3 km² を流域とする一級河川であるが，流域は近年急激に都市化され地下水の過剰採取を主因とする地盤沈下は全域に及び過去 10 年間に最大 937 m/m に達している． このため，自然排水が困難で小降雨で浸水するなど内水対策は深刻な社会問題となっている．そこで本県では 40 m³/sec 排水機場を計画し当面 53 年 5 m³/sec ポンプを稼動させ 57 年完成を目標に本年下部工に着工した．
本ダムは九頭竜川の洪水調節，流水の正常な機能の維持と増進を図るとともに，新設される真名川発電所において最大出力1万 4 000 kW の発電を目的とした多目的ダムであり，現在本体コンクリート打設中である．
本ダムは仁淀川の洪水調節，下流の既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進を図るとともに，高知市に対する上水道用水の補給，新設される大渡発電所において最大出力3万 3 000 kW の発電を目的とした多目的ダムである．現在，転流工を終え掘削中であり近く本体コンクリートの打設を予定している．
本ダムは鬼怒川，利根川の洪水調節を行うとともに，流水の正常な機能の維持と増進を図り，鬼怒川沿岸の農地に対するかんがい用水の補給，栃木県，千葉県内の上水道用水および工業用水の補給を目的とした多目的ダムであり現在本体掘削中である．
本ダムは，最上川の洪水調節，下流の既成農地に対するかんがい補給，白川等沿岸の農地に対するかんがい用水の補給，飯豊町に対する工業用水の補給，新設される白川発電所において最大出力 8 900 kW の発電を目的とした多目的ダムであり現在本体盛立中である．
本河口堰は，旧固定堰を可動堰に改築し，洪水の疎通能力の増大を図り，塩分の遡上を防止する等流水の正常な機能の維持と増進を図るとともに，福山市に対して工業用水の補給を目的としたものであり，現在堰本体の施工中である．
本ダムは，鳴瀬川の洪水調節，下流の既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進を図るとともに，大崎地区等に対する上水道用水・工業用水の補給を目的とした多目的ダムであり，現在本体盛立中である．
本ダムは，酒匂川の洪水調節，川崎市，横浜市，横須賀市，小田原市他県下一円の上水道用水の補給を目的とした多目的ダムであり，現在本体掘削中である．
本ダムは，勝浦川の洪水調節，下流の既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進を図るとともに，下流沿岸の農地に対するかんがい用水の補給，小松島地区に対する工業用水の補給，新設される勝浦発電所において最大出力1万 1 300 kW の発電を目的とした多目的とした多目的ダムであり，現在本体コンクリートの打設中である．
六甲山系を水源として流下する各渓流は過去の災害が示すように，地形，地質的に土砂災害発生の危険度がきわめて高い．これは六甲変動と呼ばれる地殻変動により断層破砕帯が縦横に走り，これに沿って深層風化が進んでいるためでもある． 紅葉谷は住吉川の支渓であって，山腹斜面は風化層が厚く，山腹崩壊箇所が多数見受けられ，河床には大小の転石が多く堆積しており，土石流の発生が予見されるため土石流対策砂防として施工したものである．
常願寺川は水源地域の荒廃が著しい代表的な活動性河川である．最近では昭和 44 年8月の前線豪雨によりおびたたしい土砂が下流に流出し，大きな被害を与えている． 本砂防ダムは常願寺川の水系砂防の一環として流送土砂のコントロールを目的として昭和 48 年度より左支川称名川渓谷に実施している．

名　　称	データ
通常砂防事業補助木戸川流路工〔② 滋賀県滋賀郡，③ 48% 完成（昭和 51 年3月 31 日現在)〕	事業実施箇所：滋賀県滋賀郡志賀町　事業主体：滋賀県　工事期間：昭和 49 年2月～54 年3月　事業予算：6億 3000 万円　護岸長：1 000 m　床固工：48 基　施工業者名：勝見建設工業
地すべり対策事業補助国見地すべり〔② 富山県氷見市国見，③ 66.7% 完成（昭和 51 年3月 31 日現在)〕	事業実施箇所：富山県氷見市国見地先　事業主体：富山県　工事期間：昭和 36 年 4 月2日～53 年3月 31 日　事業予算：3億 1000 万円　集水井工：φ4 m，深さ 15～20 m 10 基　横ボーリング：1万 5350 m　水路工：6 800 m　暗渠工：1 000 m　排土工：5万 m³　山腹工2万 m²　施工業者名：平場建設
急傾斜地崩壊対策事業家の下地区急傾斜〔② 青森県西津軽郡，③ 71% 完成（昭和 51 年3月 31 日現在)〕	事業実施箇所：青森県西津軽郡深浦町家の下　事業主体：青森県　工事期間：昭和 46 年 5 月～52 年3月　事業予算：1億 3000 万円　擁さょ工：153 m　のり面工：8 200 m² 施工業者名：ライト工業
直轄高知海岸保全施設整備事業〔① 高知海岸，② 高知県南国市，③ 13% 完成（昭和 51 年 3 月 31 日現在)〕	事業実施箇所：高知県南国市　事業主体：建設省四国地方建設局　工事期間：昭和 44 年4月1日～　事業予算7億 5000 万円（50 年度予算）　50 年度事業：離岸堤 2.5 基 250 m，根固工 375 m　施工業者名：大旺建設・大本組・浅川組
高知港海岸保全事業〔① 高知港直轄高潮対策，② 高知県高知市，③ 52% 完成（昭和 51 年1月 10 日現在)〕	事業実施箇所：高知県高知市仁井田地区　事業主体：第三港湾建設局高知港工事事務所　工事期間：昭和 48 年3月 24 日～56 年3月 31 日　事業予算：27 億 5000 万円　突堤：T字型異形ブロック堤，横堤 80 m，縦堤 150 m　天端高：DL＋3.5～＋2.5 m　ブロック重量：50～10 t　施工業者名：大旺建設
玉名海岸保全事業〔① 玉名地区，② 熊本県玉名市・玉名郡，③ 94.6% 完成（昭和 51 年3月 31 日現在)〕	事業実施箇所：熊本県玉名市・玉名郡・鮑託郡　事業主体：農林省　工事期間：昭和 35 年6月～52 年3月　事業予算：42 億円　堤防天端高：6.00～7.00 m　堤防形式：重力式　施工業者名：大成建設・梅林建設・日本グラウトほか
釜石漁港海岸保全施設整備事業〔① 釜石漁港海岸保全事業，② 岩手県釜石市，③ 82% 完成（昭和 51 年3月 31 日現在)〕	事業実施箇所：岩手県釜石市字新浜町　事業主体：岩手県　工事期間：昭和 46 年 10 月～52 年 3 月　事業予算：4億 1000 万円　事業延長：1 819 m　天端高：DL＋4.70 m　施工業者名：銭高組

港湾・漁港・航路標識

昭和 50 年度の**港湾整備**は，第四次港湾整備5か年計画（昭和 46～50 年度）の最終年度として，港湾整備事業（航路，防波堤，岸壁等の整備）2761 億円（当初予算 2638 億円），港湾機能施設整備事業（上屋，荷役機械等の整備）407 億円，臨海部土地造成事業（臨海工業用地，都市再開発等用地の造成）2775 億円の規模で実施している．

特記事項としては，直轄改修事業，補助改修事業として，熊本港などの整備に着手したこと，港湾環境整備事業として，川崎港，横浜港の廃棄物埋立護岸に着手したほか，新規制度

名　　称	データ
稚内港天北1号埠頭建設工事〔① 稚内港天北埠頭建設工事，② 北海道稚内市，③ 31.0% 完成（昭和 50 年 12 月現在)〕	事業実施箇所：稚内市大黒町地先　事業主体：北海道開発局・稚内市　工事期間：昭和 49 年 5 月 28 日～53 年　事業予算：66 億 3000 万円　対象船舶：1万5000 t D/W（最大）　取扱貨物量：71万 t　係留施設：－10 m 2 バース，－7.5 m 2 バース，－4.0 m 物揚場 135 m　用地造成：7万 m²　施工業者名：藤建設・戸田建設・東亜建設工業
室蘭港崎守 －12 m 岸壁建設工事〔① 崎守 －12 m 岸壁工事，② 北海道室蘭市崎守町，③ 100% 完成（昭和 50 年 12 月9日現在)〕	事業実施箇所：北海道室蘭市崎守町地先　事業主体：北海道開発局　工事期間：昭和 48 年4月 29 日～50 年 10 月 15 日　事業予算：7億 3000 万円　構造形式：鋼矢板構造，控組杭式　前面水深：－12.0 m　エプロン幅員：20 m　バース長：240 m　接岸対象船舶：4万 D/W　荷役機械：10 t 吊水平引込式走行クレーン　施工業者名：鹿島建設
苫小牧港工業港区岸壁（勇払 －12 m）工事〔① 勇払1号岸壁，② 北海道苫小牧市，③ 82% 完成（昭和 50 年 12 月 25 日現在)〕	事業実施箇所：北海道苫小牧市・勇払　事業主体：北海道開発局・苫小牧港管理組合　工事期間：昭和 50 年4月1日～51 年3月 31 日　事業予算7億 7000 万円　岸壁：－12 m（4万 D/W 級）1 バース　岸壁延長：240 m　構造：鋼矢板式　岸壁天端高：＋3.4 m　設計震度：Kh=0.15　施工業者名：国策建設／鹿島建設／王子不動産 JV・前田建設工業／三井建設／三井不動産建設 JV
深浦港西防波堤築造工事〔② 青森県西津軽郡，③ 3% 完成(昭和 50 年 12 月1日現在)〕	事業実施箇所：青森県西津軽郡深浦町　事業主体：運輸省第二港湾建設局　工事期間：昭和 49 年6月 20 日～56 年3月　事業予算：56 億 8000 万円　防波堤：延長／400 m，構造／函塊式混成堤，天端高／＋5.5 m，堤体幅／20.5 m　施工業者名：佐藤組
八戸港整備事業八戸大橋架設工事〔② 青森県八戸市，③ 90% 完成（昭和 50 年 12 月 31 日現在)〕	事業実施箇所：青森県八戸市大字河原木一館鼻　事業主体：青森県　工事期間：昭和 48 年3月 25 日～51 年9月 30 日　事業予算：46 億 8000 万円（4車線計画中暫定2車線分）　橋の等級：1等橋　橋長：1 323.7 m　幅員：全幅 9.75 m（車道幅 6.5 m 歩道幅 2.25 m）　桁下空間：30.0 m（H.W.L より）　構造形式：上部工／主径間 三径間連続鋼床板箱桁（100.4＋165.0＋100.4），下部工／ニューマチックケーソン，ほか鋼杭基礎　施工業者名：横河橋梁製作所・住友重機械工業・間組ほか